

認定NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会

ORMZ ニュース第104号 (R2.3.28)

事務局：宮崎市生目台西 4-7-7（メール info@ormz.or.jp） 文責：日高良雄



はじめに 新型コロナウイルス感染症、世界中でのパンデミックとなり、オリンピック・パラリンピックも延期となりましたね。

当法人の活動も、大きな影響を受けています。

今回のニュースでは、今後の活動について説明をさせていただきますとともに山元先生が行った1月の講演会の様子や、在ザンビア日本大使館の情報をお届けします。

新型コロナウイルス感染症発生に伴う活動の一時停止について

新型コロナウイルス感染症については、日本はもとより欧米、アフリカ各国等においても感染拡大が報じられ、行動の自粛や往来の制限がなされています。

ザンビアにおいても、3月上旬には海外からの入国者に2週間の自宅隔離が命じられるようになり、中旬の感染者確認（26日時点で3名）を経て、5月末までの飛行機が全てキャンセルされ、山元先生も4月からの渡航ができなくなりました。

また、ルング大統領が25日、全国民に向け、新型コロナウイルス対策の一層の強化を発表しています。メッセージの概要は以下のとおりです。

●下記措置を26日午前0時から、まずは14日間実施する。

1. ビザ発給の際に注意を払う
2. 渡航者に対する症状別検疫措置を実施
3. 不要不急の海外渡航の一時停止
4. 公共の集会は最大50名まで
5. レストランは持ち帰り及び配達のための営業
6. 全てのバー、ナイトクラブ、映画館、ジム及びカジノを閉鎖

このような状況を受け、スタッフの感染防止や、巡回診療を行うことでその地域に感染を広げる懸念もあることなどから、3月をもって一時巡回診療を停止することとしました。併せて、4月、5月に予定していたCHW研修（後期分）も延期することとしました。

なお、現地の手持ち資金（山元先生個人のお金もお借りして）で可能な限り薬等を購入し、巡回診療を行う各地区のCHWにそれを預け、一時活動停止中の間のマラリア等への検査と投薬を行う手配を行いました。スタッフ等の給与も5月分まで前渡ししています。

早く新型コロナウイルス感染症が収束することを祈るばかりですが、6月以降どのようになるか現時点では予断を許さない状況です。

状況を逐次確認しながら、今後の対応を進めていきたいと考えております。

皆様にもどうぞご理解いただきますようお願いいたします。

活動報告（山元香代子先生講演会）

1月25日（土）、「とちぎメディカルセンターしもつが」で開催された第7回学術集会に招かれ、特別講演を行ってきました。

参加者は、医師会の先生方や各施設、支援センターの職員等174名で、山元先生の話を中心に聞き入られていたそうです。

多くの方から感想をいただいておりますが、いくつかを掲載させていただきます。

- ・良かった、とても良かった。また聞きたい。子供に聞かせたい。今までにない講演で良かった。
- ・日本では当たり前のことが、当たり前ではない、水を手に入れることさえ困難な国があることを改めて知った。山元先生は医師として、人間として、立派な方で、その生き方に感動しました。
- ・普段は収支にばかり目がいきがちですが、医療の本質を考えさせました。とても良い内容でした。
- ・様々な環境で生活する人、医療に携わる人についての講演をきいて、今自分にできる事をしっかりしようと思いました。
- ・山元先生の活動に感動しました。自分の存在が小さく感じました。

ザンビアでは、日本で当たり前とされる事とは異なる環境で、先生が目の前にある事を一つ一ついいねいにされている事に本当に感銘を受けました。私も日々の業務振り返ってみたいと思います。

・貴重な講演が聞け、日本の医療との違いや、日本人が世界で活躍されていることを誇りに思いました。日本の医療も、もっと人に寄り添った医療を目指したいです。一人一人が人と接しているということを忘れず、当院でも患者・家族と係わっていきたいです。

・私はこの講演を聞いて尊敬しました。自分のことしか考えていないこの世ですが、人のために何かをしてあげたいと思う心、本当に素敵であり、私も看護師としてその精神で仕事をしていますが、業務多忙でそのことを忘れてしまっていた気がします。私に出来るかは分かりませんが、入院している患者に優しく接し、何かできるように努力していきます。



在ザンビア日本大使館情報（ホームページから抜粋）

2020年3月3日（火）、Nerd Otaku との共催により、首都ルサカ市のアーケーズ・モールにおいてルサカ・ジャパン・デー2020を開催しました。

水内龍太駐ザンビア大使の開会挨拶に続き、ザンビア政府を代表してアグネス・ニエンドウワ・ザンビア芸術評議会副会長がスピーチを行い、日本文化を紹介するこの様な行事を開催したことに対する謝意が述べられ、芸術を通じて文化を盛り上げるよう、来場客に呼びかけました。

今回のルサカ・ジャパン・デーは、同種の事業としては13回目の開催で、ザンビア人に日本文化に親しんでもらうことを目的としています。



当日の12時から16時まで、アーケーズ・モールは日本の伝統文化と現代文化を披露する場となり、日本人とザンビア人、老若男女が書道、折り紙、浴衣着付け、アニメとマンガ、その他日本文化を体験しました。

また、日本酒の試飲コーナーでは、愛好家が日本酒をたしなみながら会話に花を咲かせていました。

多くの来場者が、各コーナーにおいて実際に日本文化を体験することにより、日本への理解を深めるとともに、ザンビアではまず飲むことができない日本酒にも興味を示し、ジャパン・デー会場は盛況を見せました。ザンビアでは日本文化に触れる機会は限られていますが、このような文化行事を通じて日本とザンビアの交流の幅が広がり、両国間の相互理解が深まり、友好関係が一層発展することが期待されます。



賛助会費の納入と寄附受領証明書の送付について

- ・2020 事業年度（事業年度は1月から12月）が始まりました。早速ですが、賛助会費（個人一口5000円、団体一口10000円、一口以上）及びご寄附（金額は問いません）のご協力をよろしくお願いいたします。
- ・当法人は認定NPO法人（この1月から5年間の認定更新を受けています）であり、ご寄附（賛助会費含む）をいただいた際には、翌年の確定申告で税制上の優遇措置を受けるための寄附受領証明書（賛助会費も寄附金と同様税控除の対象）をお届けします。
- ・ご不明の点は日高（info@ormz.or.jp または hidaka1956@gmail.com）までご連絡ください。

- ★郵ちょ銀行からの振替 口座記号 01720-9 口座番号 126351
加入者名 NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
- ★他の金融機関からの送金 郵ちょ銀行 口座記号：01720-9 、口座番号：0126351
加入者名 ： NPO 法人ザンビアの辺地医療を支援する会
カナ名称（全角） ： トクヒ） ザンビアノヘンチイリョウヲシエンスルカイ

*** 新型コロナウイルス感染症が早く収束することを祈るばかりです。**

2020 年が皆様に取りまして良い年となりますようお祈り申し上げます。

今年も多くの皆様のご支援を心からお願い申し上げます。